

な が ら

第 34 号

平成30年3月31日

発行
朝日大学職員協議会「ながら会」
題 字
宮田 慶三郎

ながら会新入会員

氏 名	所 属
武 田 啓 志	PDI 岐阜歯科診療所
山 崎 祐 貴	PDI 岐阜歯科診療所
外 山 実千留	RI 研究施設
西 田 理 恵	衛生士専門学校
長 屋 梨 紗	衛生士専門学校
松 久 晴 香	衛生士専門学校
近 澤 沙 耶	衛生士専門学校
矢 吹 明 子	看護学科
神 原 千 佐子	看護学科
菅 原 隆 成	看護学科
出 口 一 樹	看護学科
齋 藤 良 子	看護学科
豊 田 久 亀	教職課程センター
足 立 淳	教職課程センター
山 下 廉太郎	教職課程センター
城 垣 千 寛	矯正
駒 形 香菜子	矯正
岩 佐 直 樹	健康スポーツ科学科
梶 山 俊 仁	健康スポーツ科学科
庄 司 直 人	健康スポーツ科学科
土 田 洋	健康スポーツ科学科
菅 嶋 康 浩	健康スポーツ科学科
尹 熙 喆	健康スポーツ科学科
塚 中 敦 子	健康スポーツ科学科
築 瀬 歩	健康スポーツ科学科
高 橋 篤 史	健康スポーツ科学科
安 達 詩 穂	健康スポーツ科学科
角 田 和 代	健康スポーツ科学科
本 田 亜紀子	健康スポーツ科学科
禿 隆 一	健康スポーツ科学科
加 藤 尊	健康スポーツ科学科
竹 島 伸 生	健康スポーツ科学科
澤 田 正 子	口腔生化学

氏 名	所 属
設 楽 彰 子	歯科薬理
岩 崎 理 浩	社会口腔保健
友 藤 孝 明	社会口腔保険額
河 江 岩 男	就職支援課
玉 置 恵美子	障害者歯科
近 藤 裕 子	小児歯科
鈴 木 あゆみ	小児歯科
高 橋 夏 海	総務課
小 川 伸 也	総務課
渡 邊 実 久	総務課
洞 田 厚 男	入試広報課
川 上 健 一	入試広報課
平 野 明 美	入試広報課
川 口 信	入試広報課
眞榮田 義 功	入試広報課
吉 田 あゆみ	医科歯科医療センター
山 本 晴 男	物理
坂 元 弘 一	法学部
林 隆 也	法学部
出 雲 孝	法学部
亀 田 研	法学部
梶 谷 康 久	法学部
堺 ちなみ	保存科
足 立 ことの	補綴 1
古 田 淑 美	補綴 3
田 中 修	朝日大学病院
宮 崎 涼 子	朝日大学病院
森 島 千 春	朝日大学病院
水 口 由 香	朝日大学病院
内 田 麻詠子	朝日大学病院

63名

※2018年3月現在のながら会会員費徴収者のうち、
2017年4月～2018年3月31日採用者についてです。

編集後記

近藤信夫新代表幹事による職員協議会「ながら会」最初の一年が終わります。新幹事として夏季と冬季の総会の企画や運営など、不慣れな状況で皆で力を合わせて行ってまいりました。職員協議会としての法人側との交渉などは多くの会員の皆さまのご意見を集約して行ってきたくもります。全ての方のご意見を反映させることはできませんでしたが、なるべく多くの方々のお考えを反映できたと考えております。「ながら会」の活動にとっても重要な皆さまのご意見は、最寄りの幹事までご遠慮なくお知ら

せください。また、2017年度に休会となっている同好会がいくつかあります。会員の退職等で活動が困難になっていることがその理由の一つと考えられますが、同好会が活動しやすい環境の整備や新同好会の立ち上げ基準など、「ながら会」規約の見直しが必要な時期なのかも知れません。皆さまのご支援とご協力を必要としております。

2018年4月吉日
編集委員 柏俣正典

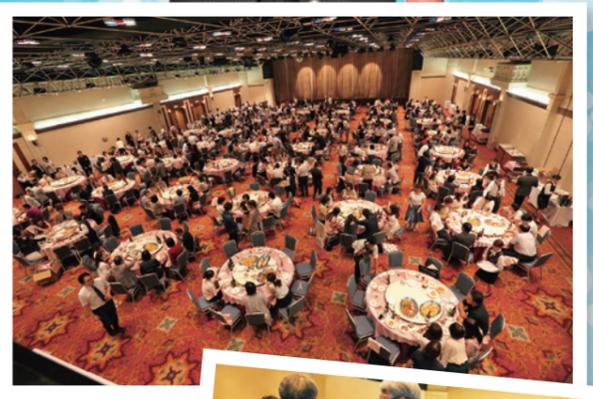
朝日大学職員協議会
「ながら会」
冬季総会・懇親会
盛大に開催される

場 日 時
所 所
参加人数
2017年12月21日(木)
岐阜グランドホテル
399名



夏季総会・懇親会

目 時：2017年7月21日(金)
場 所：岐阜ランドホテル
参加人数：339名



ながら会 同好会だより

スキー同好会・スノーボード同好会

スキー同好会・
スノーボード同好会
合同ツアー

平成30年3月3日～3月4日の2日間にわたり、毎年恒例のスキー同好会・スノーボード同好会の合同ツアーを開催しました。

今回の合同ツアーの会場は、奥飛騨の「ほうのき平スキー場」で、今年も穂積キャンパス・附属病院、村上記念病院の各部署から会員の方々に参加していただきました。

例年よりも少し遅めの開催となりましたが、今年は昨年末からの大寒波の影響で雪に恵まれスキーやスノーボードを思う存分、堪能することができました。所々、アイスバーンの斜面がありました。ゲレンデには新雪が積り、最高のコンディションでした。2月に開催された平昌オリンピックのアルペン選手をイメージしながらシユプールを描くことが出来ました。しかし、今年は春先にも関わらず少し肌寒かったような気がします。スキー後

はゲレンデに併設されている温泉にゆつくりと浸かり、冷えた体を温め日頃の疲れを癒すことも出来ました。毎年恒例のことですが、スキー後の温泉は最高です！体の芯から本当に温まります。そして、帰りはビールを片手にゆつくりとバスで帰宅する…とても幸せです！今年も大満足の内容となりました。今回のツアーにおきましても大きな事故なく、有意義な時間を過ごすことができました。来年度も、皆様に満足いただけるようなツアーを企画いたしますのでお気軽にご参加ください。皆様のご参加を会員一同お待ちしております！



スキー同好会

〔連絡先〕

住友伸一郎（会長）

（歯学部・口腔外科学分野）

スノーボード同好会

〔連絡先〕

後藤洋一（会長）

（朝日大学病院・リハビリテーション科）

自然に親しむ会

夏季キャンプ

〔長野・戸隠を訪ねて〕

2017年7月15日から17日、2泊3日の旅程で恒例の夏季キャンプを行った。2015年から3年連続してバスで巡る旅になった。朝日大学を早朝に出発し、名神高速道路―中央道―長野道を経由して、一気に松本市にやってきた。目指すのは松本城である。北アルプスをバックにそびえ立つ白と黒のコントラストの松本城はとても美しい。次に向かったのは善光寺である。お参りをした後、全員でお戒壇めぐりを体験した。瑠璃壇下の真つ暗な回廊をめぐってご本尊の真下にかかる錠前を触ってくることで極楽浄土が約束されるとされる。ほとんどの会員が錠前に触れたようだった。一泊目は長野市から西に約10kmの山里にある宿やきもち家である。玄関をくぐると大きないろりのある古民家風の宿である。里山の生活を味わった。翌日は戸隠神社へ向かった。参道入

り口から奥社までの道のり約40分間を参拝へと歩いた。途中は杉並木に囲まれ、マイナスイオンを感じることができた。連休とあって多くの人たちが行列のようにして奥社に向かっていた。二泊目の宿がある小諸市へと向かい、今回二つ目の城である上田城に立ち寄った。宿から歩いて1分のところには小諸城址懐古園があった。三つ目の城跡で一部の会員がかなり興奮気味であった。最終日は美ヶ原から諏訪大社を巡って帰路についた。活動に興味のある方々の参加をお待ちしております。

〔連絡先〕

柏俣正典

（歯学部・歯科薬理学分野）



麻雀同好会

皆様は麻雀の歴史をご存じでしょうか。中国から入った麻雀は、昭和初期に第一次ブームが起きました。戦争の拡大や賭博性から消滅しました。戦後、ドラやリーチなどの新ルールの導入により徐々に麻雀が大衆娯楽として認知され、昭和40年代からの第二次ブームとなりました。その後、麻雀人口は減少していきましたが、種々の麻雀団体が職業としてのプロ麻雀士が世間に認知されたこと、インターネット麻雀の普及、男性のゲームであった麻雀への女性の進出、麻雀の日(バイの日)も8月1日に制定されるなど、現在では第三次麻雀ブームと言っているほどになってきております。

麻雀同好会では毎年総会を開催し、教職員で麻雀の歴史に思いを馳せながらその技を競い合っています。今年度の優勝者はRⅠの山口良三さんで昨年に続いている優勝でした。準優勝は病院事務課の浅井徹義さん、3位は歯科放射線学講座の吉田洋康先生でした。

次年度も2月頃に総会を開催予定です。麻雀に興味にある方は山内までご連絡ください。



【連絡先】
山内六男



エアロビクス同好会

エアロビクス同好会は月に二回、午後六時半からA.U.クラブハウス女子更衣室内スタジオで活動しています。初心者から上級者まで無理なく参加できるのが本会の特長で、ラジオ体操程度の運動が可能な方であれば、誰でも参加可能です。エアロビクスは音楽のリズムに合わせて全身を動かす有酸素運動です。体内に酸素を取り込み、心肺を刺激することによって健康が増進されます。独学で健康づくりに取り組むのは難しいですが、時間が無い、体が硬いなど苦手意識のある方も、同好会の仲間がいることにより長く続けられます。

楽しみながら体を動かし、仲間ができて健康になる、大学内の施設で行うことができる、などエアロビクス同好会には良いことがたくさんあります。何かを始めたいと思っている方は、是非ご連絡下さい。



【文責】
安藤美紀
(図書館事務課)

【連絡先】
大橋たみえ
(歯学部・
社会口腔保健学分野)
安藤美紀
(図書館事務課)

ゴルフ同好会

第49回朝日大学ながら会ゴルフ同好会ゴルフコンペの開催について

本ゴルフ同好会は、2017年9月24日(日)に「やまがたゴルフ倶楽部美山コース」において第49回ゴルフ同好会コンペを開催しました。

当日は、一日中快晴が続き最高のゴルフ日和でした。宮田理事長、大友学長、明海大学からは中山浩之事務局長、2017年4月に開設した健康スポーツ科学科からは竹島学科長のほか6名の先生方の総勢27名が参加するゴルフコンペとなりました。

本ゴルフコンペは、10時10分から宮田理事長と大友学長のお二人による始球式後、7パティーに分かれ、皆熱心にプレーをしました。

なお、同ゴルフコンペの結果(優勝・準優勝・3位)は、次のとおりでした。

優勝 留学生別科長 横山 博信
準優勝 法学部 教授 栗津 明博
3位 事務局長 高橋 偉茂

本ゴルフ同好会は、来年第50回目の記念すべき大会となります。より多くの皆様に参加していただけるよう企画しますので、皆様の参加をお待ち申し上げます。

【連絡先】

部尾元宣(会長)
(歯学部・歯科補綴学分野)
古泉尚
(医科歯科医療センター
事務課)



スポーツ応援同好会



皆様、平昌冬季五輪での日本選手の大活躍は記憶に新しい事と思います。そして心に残る場面は、誰しもが持っているスポーツを通しての独特の感性ではないでしょうか。

我々の会は本校の体育会の活躍を中心に応援に出向き、そんな場面を共有することにより、会の主旨であるスポーツ観戦をすることにより自己啓発、ストレス発散、精神的健康増進、会員相互の親睦を高めるの活動を今年度も行いました。

特筆するべきは、ホッケー部の日本一の瞬間で、会員は全ての事業所、役職、学部、部署、体育会の垣根を越え、誰彼構わずに周りハイタッチをした事でした。また、お楽しみ会の懇親会を先日行い、ご多忙の中、宮田理事長、大友学長、瑞穂スポーツガードン石樽理事長もご参加賜り、新入会員含め多くの女性会員と共に盛会の内に締めることができました。

幹事は大森(歯学部講師 toshi@dent.asahi-u.ac.jp)

が仰せつかっております。ご入会希望がございましたら遠慮なく一報をくださいませ。

【連絡先】
大森 俊和
(歯学部・歯科補綴学分野)



芸術鑑賞同好会



我々が所属する芸術鑑賞同好会は、個人の楽しみを扶助する組織でもありますが、同時にながら会員同士の交流、親睦を深める場でもあります。2017年度は新規会員一名を迎えました。

今年度の活動は、近隣の美術展、音楽会の鑑賞が中心です。世話人はいつも各会員の好みや会全体のバランスを考慮しながら色々な企画を行っています。

最近では会員から「こういう展覧会がある」「これに行きたい」という積極的な要望も聞かれるようになり、それを踏まえて企画することもあります。会の運営に関することは会員自身の満足につながる良い傾向であり、今後の活動がますます楽しみです。

多忙な毎日を送っている皆様、時には日常を離れ、芸術の世界に遊んでみませんか。入会希望は随時受け付けております。

【文責・連絡先】
安藤 美紀
(図書館事務課)



囲碁将棋同好会



囲碁は頭のスポーツと言われアジア大会でも正式競技種目として採用されています。思考力、集中力、記憶力、忍耐力、大局観など囲碁にはビジネスにおける必須要素を養うことができるとされており、現在、東京大学や早稲田大学などで教養科目として取り入れられています。朝日大学でもながら会の同好会活動として囲碁将棋をやっています。会員の皆さまの中で囲碁に興味をお持ちの方は、一度本会へ参加をご検討下さい。

中部地区大学教職員囲碁大会への参加、冬に学内大会を開催しております。第34回中部地区大学教職員囲碁大会は2017年7月2日(日)に日本棋院中部総本部にて行われ、本学からは、山口良三(口腔科学共同研究所)、河野芳朗、矢野航(口腔解剖学)が3名1チームで参加しました。チーム全員の勝率によって大学間で順位を競いました。残念ながら、今年度の大会で朝日大学チームは入賞を逃しました。また昨年度に引き続き日本棋院中部総本部所属のプロ棋士に來学して頂き

講義解説していただきました。囲碁はシンプルなルールのゲームです。初心者から有段者まであらゆるレベルの方が楽しんで頂くことができますので、興味を持たれました皆様からのご参加お待ちしております。

【連絡先】
矢野 航
(歯学部・口腔解剖学
内線・1521)



第34回中部地区大学教職員囲碁大会
における対局風景



今年度の釣り同好会は、11月3日(文化の日)に愛知県知多郡の師崎港から出船する明神丸を貸し切り、朝日大学病院と村上記念病院、事務局、法学部などからの計7名の仲間と真鯛釣りに出かけた。

真鯛釣りの最大のポイントは「タナ取り」である。海底の環境やその時の潮の速さや向きなどによって、魚の泳いでいる層(タナ)が変わるのである。船長の掛け声で一斉にエサをつけて投入、魚群探知機の示した数値と船長の経験などから指示されたタナに正確にエサを泳がせた者がより多くの真鯛を得ることができているのである。

そもそも真鯛(英: sea bream)は、ズキ目スズキ亜目タイ科に分類される魚類で、全長120cmに達する比較的大型の魚だが、食用として多く流通するのは30〜70cm程度である。体は側扁した楕円形で、顎が前方にわずかに突き出ており、体色は紫褐色を帯びた光沢のある淡紅色で、青い小斑点が散在する。日本で

は古くから真鯛のこの赤い体色と「メデタイ」との語呂合わせから、めでたい魚と考えられ、慶祝事や神道の祭において欠かせない高級食材とされてきた。中でも天然真鯛は、身も締まり、ほどよく脂がのつていて、上品な甘みと適度な歯ごたえがあるため、刺身、昆布締め、塩焼き、煮付け、蒸し焼き、干物、混ぜご飯など様々に調理される。表面が非常に頑丈な鱗で覆われており、ひれのトゲが固く危険であることから、さばくのに苦勞を要するが、私にとってはさばくのもまた楽しみの一つである。今回



の釣果は、真鯛が全員で80匹程度。初心者もいる中、大成功であった。釣りに少しでも興味がある方、美味しい魚を食したい方、2018年度の同好会活動に是非ご参加ください。初心者でも構いません、ベテランの会員が揃っておりますので、指導もさせていただきます。それでは来年度も大漁でありますように。

【連絡先】
野々垣 龍台(代表)
(歯学部・歯科補綴学分野)

硬式テニス同好会

2017年度は活動形式を変え、1〜2ヶ月に一度練習会を開きました。当初は毎月の予定でしたが、練習会場のメモリアルセンターの屋内テニスコートの予約がとりにくく不定期開催となりました。

毎回18時過ぎからコートを一面借り、2時間程度テニスをしています。

全くの初心者からコーチレベルまで参加者のスキルはさまざまですが、各々楽しみながら体を動かしています。

硬式テニス同好会は、経験者・初心者問わず大歓迎です。練習会に参加ご希望のかたは、お気軽にお尋ね下さい。

【連絡先】
金山圭一
(歯学部・歯周病学分野)



研究留学記

ペンシルバニア大学
モネル化学感覚研究所

歯学部口腔生理学分野
安尾 敏明



私は、2016年9月より1年間、米国のペンシルバニア州フィラデルフィアにあるペンシルバニア大学(University of Pennsylvania)のモネル化学感覚研究所(Monell Chemical Senses Center)へ研究留学する機会をいただきました。

フィラデルフィアは、東海岸のニューヨークとワシントンD.C.の間に位置し、人口150万人弱(全米第5位)、面積367㎢の高層ビル群に囲まれたダウンタウンを有する街で、近代さと歴史が共存する街です。独立戦争時には、この街は合衆国連邦の首都で、北米最大の都市でした。この街で星条旗が作られ、独立宣言の起草やアメリカ合衆国憲法の採択が行われたことから、この街は米国の自由の象徴となっています。

ペンシルバニア大学は、アイビー・リーグの1校で、全米で初めて"University"と名付けられた教育機関で、学部と大学院を兼ね備えた全米初の大学でもありました。合衆国建国の父ベンジャミン・フランクリンが創設者の一人で、設置は全米4番目で、北米で最初に医学部を、全米で最初に経営学部を設置しました。ちょうど私が渡米し

てすぐに、大統領選挙が開催され、トランプ氏、オバマ大統領やヒラリー氏がフィラデルフィアを訪れ、講演していましたが、トランプ氏やその長女のイヴァンカ氏も同校出身です。4つの学部と医科、歯科及び看護を含む12の専門大学院が存在し、大学病院や全米初の独立生物医学研究所で実験動物のウイスター・ラットの系統を確立させたウイスター研究所、小児科病院で全米第1位のフィラデルフィア小児病院も同一キャンパス内に存在します。大学全体で多様性に重点を置いており、留学生も多く、非常に多文化・多国籍なのが特色で、日本からも歯科医師の先生が来られておりました。

モネル化学感覚研究所は、味覚と嗅覚研究に特化した世界でも他に類をみない研究所で、この研究領域の著名な研究者が世界各地から集まってきており、私の留学中には、ペン大生を含む4人の歯科医師がこの研究所にいました。

私は、大学院の頃から、味覚の研究をさせていたのですが、近年口腔内で発見された味覚受容体が、様々な臓器に発現し、様々な機能を果たしていることが明らかになってきています。私の留学先の研究



日本人の歯科医師の先生と秋の収穫祭にて。

お世話になったDr. Peihuaラボのメンバーと研究所前で。
金の像は味覚(口)と嗅覚(鼻)を表しています。



毎週開かれるDr. Margolskeeラボの報告会。

室では、所長で私のメンターDr. Margolskeeを中心として、甘味受容体が腸管の内分泌細胞に発現し、味物質にตอบสนองすることを明らかにしていました。私の留学中にも、同ラボにいた中国の歯学部大学院生が、歯周組織に苦味受容体が発現し、歯周病に関与することを報告しておりました。「氣道に苦味受容体が発現し、グラム陰性菌をセンスすること」も報告されています。また、私が直接実験のご指導をいただいたメンターのDr. Peihuaは、味蕾オルガノイド培養という技術を確立していました。このオルガノイド法は、幹細胞から三次元的に組織を誘導し繰り返し培養することが可能な方法で、味蕾器の再生、受容情報伝達、分化増殖等の解明と味覚異常に対する薬剤の開発に繋がると期待され、この技術を用いた研究が世界的に始まっています。私はこれまでに、味覚障害の一つの原因として微量栄養素の欠乏が関与しているのではないかとこのことで研究を続けてきましたので、私はこの技術を学ぶことを目的として留学させていただきました。そして「栄養素摂取状態が口腔を含む消化管における味覚受容分子の発現に及ぼす影響について」というテーマで4つの研究をさせていただきましたことができました。

連休には、姉妹校であるアラバマ大学(UAB)にも遊びに行かせていただきました。学生のみならず訪れた地に再び行けることができ、また、Dr. Fillerやご家族の皆様とお会いでき、大変嬉しかったです。学生の頃、海外研修に参加させていただいたとき、語学は大事だと痛感した私ですが、その後も語学を勉強していて、本当に良かったなと実感いたしました。

1年間研究に没頭させていただいたお陰で、色々な実験技術を習得でき、新しい研究領域に一步踏み出せ、今後も共同研究させていただけるようになりました。また、朝日大学で研究させていただき、投稿準備をしていた英語論文を、その分野で有名な同研究所におられる先生に執筆のご指導をさせていただけることになり、本当に留学させていただけると良かったと思えました。この貴重な体験を、今後はこの朝日大学で還元できるように頑張っていく所存でございます。このような貴重な機会を与えていただきました理事長宮田先生、学長大友先生、歯学部部長磯崎先生及び江尻先生、UABのDr. Filler、私の留学中に講義や実習を快く引き受けてくださった教授裕先生、准教授諏訪部先生、講師川村先生及び山村先生、補助員の米田様、社会歯科医療研究会の顧問の仕事を引き受けてくださった本多先生、教授住友先生、教授河野先生を始めとするバドミントン部のOBの先生方、秘書課の田様、総務課及び学事一課の皆様、動物舎の佐藤先生方、色々とおアドバイスをいただきました教授永山先生と講師猪俣先生、そして色々個人的に励ましていただきました先生方に厚く御礼申し上げます。

大学側から見たフィラデルフィアのダウンタウンの風景。



アメリカの自由の象徴「インディペンデンスホール」にて。



ペンシルバニア大学カレッジ・ホール。前にはベンジャミン・フランクリン像があります。



研究所のメンバーとハッピーアワーを堪能。



医学部で開かれるペンシルバニア日本人会では、多くの先生方と知り合いになることができ、味覚についての講演を2時間させていただきました。



姉妹校UABのDr. Fillerとテネシー川をバックに。



研究所の控室メンバーと。多国籍です。

「ながら会」規約

【名称】

●第1条 本会は、朝日大学職員協議会「ながら会」と称する。

【目的】

●第2条 本会は、学校法人朝日大学(以下「本学」という。)とその職員が、建学の精神に則り、相互に相手方の立場を尊重し、かつ、理解と信頼を深め、本学の発展のため必要な協力をすること並びに会員相互の親睦と会員の福利厚生の上を旨とする。また、本学から本学へ要望等がある場合、本会が定めた代表者を通じてこれを伝達し、協議の場を持つこと等を目的とする。

【会員資格】

●第3条 本会は、本学に勤務する者で1年を超える期間、常時雇用される者をもって組織する。ただし、本学特別契約職員規程に基づき採用された職員、本学嘱託職員規程及び本学

パートタイマー規程に基づき採用されている職員で週4日以上勤務する者は会員資格を有するものとする。

●第4条 本会は、その目的を達成するため次の事業等を行う。

- 【事業】
- 第4条 本会は、その目的を達成するため次の事業等を行う。
- (1) 会員相互の親睦を深める行事の企画及び実行に関すること
 - (2) 会員の勤務条件及び福利厚生等に関して本学に対し意見、要望を表明、伝達し、また、本学と協議・協定すること
 - (3) 労働基準法その他法令に定める従業員の「過半数代表者」としての任務を行うこと
 - (4) その他、本会の目的達成

【役員】

●第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 幹事 14名以上19名以内
- (2) 監査委員 3名以内

2 幹事のうち1名を代表幹事とし、幹事総数の過半数の議決により選任する。ただし、代表幹事の職を解任するときは、幹事総数の3分の2以上の議決によるものとする。

3 代表幹事の職務を助けるため、副代表幹事1名を置くことができる。副代

に必要なこと

2 前条の定めにかかわらず、前項第1号に定める行事については、幹事会の決定により会員以外の者の参加を認めることができる。

【本部及び支部】

●第5条 本会は、事務所(本部)を朝日大学内に置く。

2 本会は、穂積事業所、医科歯科医療センター事業所及び朝日大学病院事業所にそれぞれ支部を置く。

【役員】

●第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 幹事 14名以上19名以内
- (2) 監査委員 3名以内

2 幹事のうち1名を代表幹事とし、幹事総数の過半数の議決により選任する。ただし、代表幹事の職を解任するときは、幹事総数の3分の2以上の議決によるものとする。

3 代表幹事の職務を助けるため、副代表幹事1名を置くことができる。副代

表幹事の選任、解任については前項を準用する。

【幹事の選任】

●第7条 幹事は、次の各号に定める各事業所の各部門ごとに定めた数とし、各部門から相当な方法であらかじめ推薦された者のうちから総会において選任する。ただし、労働基準法第41条第2号に定める者は幹事となることができない。

【穂積事業所】

- 第5条 本会は、事務所(本部)を朝日大学内に置く。
- 2 本会は、穂積事業所、医科歯科医療センター事業所及び朝日大学病院事業所にそれぞれ支部を置く。
- 第6条 本会に、次の役員を置く。
- (1) 法学部 1名
 - (2) 経営学部 1名
 - (3) 歯学部(朝日大学病院に併任されている医系教育職員者を除く) 2名
 - (4) 事務局各室・部(朝日大学病院事務局を除く)事務職等 4名
 - (5) 歯科衛生士専門学校 1名
 - (6) 留学生別科 1名
 - (7) 教職課程センター 1名
- 第7条 本会に、次の役員を置く。
- (1) 医科歯科医療センター事業所 2名
 - (2) 医科歯科医療センター事務職等 1名
- 第8条 朝日大学病院事業所
- (1) 朝日大学病院に併任されている歯学部医系教育職員 1名

員

- (1) 朝日大学病院医療職 2名
- (2) 朝日大学病院事務職等 2名

【監査委員の選任】

●第8条 監査委員は、本会の会員で、幹事会において推薦された者のうちから総会において選任する。

【代表幹事等の任務】

●第9条 代表幹事等の任務は次のとおりとする。

- (1) 代表幹事は、本会を代表し、会務を統括するとともに、各事業所について第4条第1項第3号の任務を行う。
- (2) 副代表幹事は、代表幹事を補佐し、代表幹事に事故あるときはその任務を代行する。
- (3) 本会に、庶務、会計を担当するため、幹事会の選任により庶務幹事、会計幹事を各2名置くものとする。
- (4) 監査委員は、本会の業務監査及び会計監査を行う。

【支部幹事会】

●第10条 本会に、幹事をもって組織する支部幹事会を置く。

2 支部幹事会は、次の事項を審議する。

- (1) 支部幹事会は、各事業所における第7条各号に定める各部門から選任された幹事により構成する。
- (2) 支部幹事会は、各事業所のみに関する事項に認められる事項については、支部幹事会に議決を委ねることができる。ただし、支部幹事会における議決結果について、支部長は速やかに支部幹事会に報告しなければならない。
- (3) 支部長は、各支部の幹事のうちから支部幹事会で選任する。

1名

- (1) 総会に提案する事項
- (2) 総会で決議された事項の執行について必要な事項
- (3) 会員資格の審査
- (4) その他本会の目的を達成するため必要な事項

3 幹事会は、代表幹事が招集し、その議長となる。

4 幹事会は、過半数の幹事が出席しなければ会議を開き、議決することができる。

5 幹事会の議決は、出席幹事の過半数で決し、可否同数のときは議長の決すところによる。

【支部幹事会】

●第11条 支部幹事会は、各事業所毎に支部幹事会を置く。

- (1) 支部幹事会は、各事業所における第7条各号に定める各部門から選任された幹事により構成する。
- (2) 支部幹事会は、各事業所のみに関する事項に認められる事項については、支部幹事会に議決を委ねることができる。ただし、支部幹事会における議決結果について、支部長は速やかに支部幹事会に報告しなければならない。
- (3) 支部長は、各支部の幹事のうちから支部幹事会で選任する。

(4) 支部幹事会の運営については、前条第3項乃至第5項を準用する。

(5) 支部長は、当該事業所について第4条第1項第3号の任務を行うことができる。

【役員任期】

●第12条 幹事及び監査委員の任期は2年とし、4月1日から翌々年3月末日までとする。任期満了直近の総会において改選する。幹事及び監査委員は、新たに幹事及び監査委員が選任されるまでの間その職務を継続する権利を有し、義務を負う。

2 幹事及び監査委員は、再任されることができる。

3 幹事に欠員が生じたときは、第7条により幹事の選任を行う。ただし、欠員が当該事業所の幹事数の3分の1以内のときは欠員補充を行わないことができる。補欠の幹事の任期は、前任者の残任期間とする。

4 監査委員に2人以上欠員が生じたときは、第8条により監査委員の選任を行う。

【総会】

●第13条

総会は、この会則で定める事項を決議する。

●第14条 総会は、会員によりこれを組織する。

2 総会は、代表幹事が招集し、その議長となる。

3 総会は、会員の4分の1以上の出席があれば会議を開き、議決することができる。委任状を提出した者は出席したものとみなす。

4 会員は、代理人に議決権の行使を委任することができる。ただし、会員以外の者は代理人となることができない。

【総会の組織等】

●第15条 総会は、定期総会を毎年12月に開催し、臨時総会は、幹事会が必要と認めるとき開催することができる。また、会員総数の5分の1以上の会員から要求があった場合、代表幹事は30日以内に総会を招集しなければならない。

●第16条

●第17条 総会は、役員に著しい非行その他役員としてふさわしくない行為があった場合には、出席した会員の3分の2以上の議決により、当該役員を解任することができる。

●第18条 本学との協議・決定事項

●第19条 会員は、次の各号に該当したときは会員資格を失う。

- (1) 本学との雇用契約が終了したとき
- (2) 退会届を提出し、受理されたとき
- (3) 総会により除名されたとき
- (4) 第3条第1項に定める資格要件を失ったとき

●第20条 会員に次の事項に該当する事由があるとき、総会は当該会員を除名することができる。

- (1) 会費の支払いを3ヶ月以上怠ったとき
- (2) その他本会の会員としてふさわしくない行為があったとき

次の事項は、総会に付議し、その承認を得なければならない。

- (1) 事業計画及び予算
- (2) 事業報告及び決算
- (3) 会員の除名
- (4) 会則の改廃
- (5) その他本会に関する重要事項

●第17条 総会は、役員に著しい非行その他役員としてふさわしくない行為があった場合には、出席した会員の3分の2以上の議決により、当該役員を解任することができる。

●第18条 本学との協議・決定事項

●第19条 会員は、次の各号に該当したときは会員資格を失う。

- (1) 本学との雇用契約が終了したとき
- (2) 退会届を提出し、受理されたとき
- (3) 総会により除名されたとき
- (4) 第3条第1項に定める資格要件を失ったとき

●第20条 会員に次の事項に該当する事由があるとき、総会は当該会員を除名することができる。

- (1) 会費の支払いを3ヶ月以上怠ったとき
- (2) その他本会の会員としてふさわしくない行為があったとき

【会 社】

●第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日から3月末日までとする。

【会 費】

●第22条 会費は、月額100円とし、毎月所定の期日までに納めなければならない。

【助 成】

●第23条 本会は、会員相互の親睦を深めるため、諸行事を

実施し、幹事会の認められた同好会活動を支援する。

2 前項の諸行事及び同好会活動その他本会の運営に關し、本会は本学から助成を受けることができるものとする。

【雑 則】

●第24条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

ながら会 幹事

近藤 信夫 (歯学部)	新井 祐子 (経営学部)
下條 芳明 (法学部)	柏 俣正典 (歯学部)
北端 恵子 (保健医療学部)	藤田 裕一郎 (留学生別科)
田村 真依 (歯科衛生士専門学校)	山下 廉太郎 (教職課程センター)
今泉 佳宣 (教育職)	山北 博子 (医科歯科医療センター)
水谷 智 (医療職)	片岡 彩伽 (医療職)
有川 信穂 (医療職)	井戸 幸子 (医療職)
青木 要介 (事務局)	佐藤 あや子 (事務職)
古田 香名子 (事務局)	高木 広美 (事務局)
和田 一徳 (事務局)	